

瀬戸内国際芸術祭公式プログラム 主催：ドピカーン観音寺実行委員会

## ドピカーン観音寺 夜のまち歩き～よるしるべ 2013

### 【開催のご案内とご協力をお願い】

平素より、観音寺市内におけるドピカーン観音寺が実施する文化交流事業に関して、格別のご高配を賜り熱く御礼申しあげます。

さて、2013年夏、観音寺市では、瀬戸内国際芸術祭の会場として、伊吹島を中心とした様々な催しが開催されます。その一環として、ドピカーン観音寺では、二年前から実施している「夜のまち歩き～よるしるべ」を展開することになりました。本事業を通じて、県内外の方々に観音寺の魅力を知っていただくと共に、市内の産業や文化の発展に寄与するものと確信しております。つきましては、本事業の開催にあたって、準備段階から芸術祭開催期間中のよるしるべ作品や看板等の設置、及びガイドツアーの際の来場者の方々の誘導に関して、地元地域の皆様にご理解とご協力を賜りたくお願い申しあげる次第です。

- 瀬戸内国際芸術祭開催期間 2013年7月20日（土）～9月1日（日）  
毎週土日曜日の午後6時から9時  
準備期間 2013年6月中旬～7月19日（金）の約一ヶ月間

### 【「夜のまち歩き～よるしるべ」とは？】

アーティストが織りなす様々な映像作品を道しるべに、観音寺にまつわる逸話や伝承を発見しながら夜の街を歩きます。古い町並みが残る観音寺の路地裏に潜む人の営みや歴史、日中には垣間みることのできない幻想的な夜の世界を来場者や市民の方に味わっていただくプログラムです。

### 【よるしるべ作品の事例】

- 1) 映像作品による建物や路地への投影
  - 2) モビール作品を街灯に設置
  - 3) 陶器で作った灯ろうの設置
- \*マップを見ながら自由に夜の街を歩いて楽しむことができます



モビールを街灯に設置した影絵作品（2011 / OMOCi）

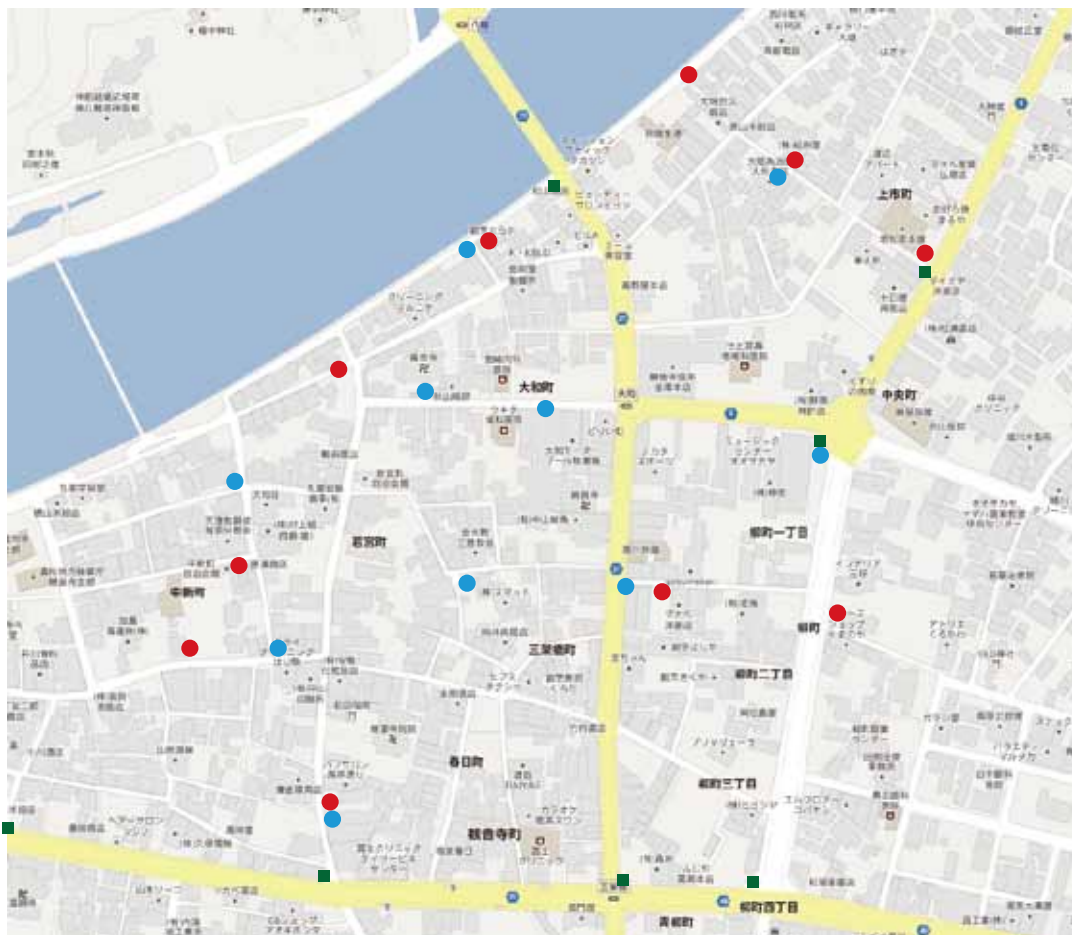


映像投影による作品（2011 / OMOCi）



陶芸作品による灯籠作品（作：槇黄州）

## 【よるしるべ作品の設置エリア&場所（予定）】



- 梶高さん作品設置場所
- 槇さん作品設置場所
- 看板(案内板)設置場所



### 【ガイドツアーのご案内】

よるしるべが点在するエリア内のお勧めコースをガイドさんによる映像作品と歴史の解説、そしてお土産をセットにしたツアーです。

- ・開催期間：2013年7月20日（土）～9月1日（日）  
上記期間中の毎週土曜日 6時45分茶屋ガーデン集合（約1時間程度）
- ・定員：1日20名

### 【参加アーティストの紹介】

#### 1) OMOci (梶高慎輔・梶高果代によるアーティストユニット/広島県)

梶高慎輔と梶高果代によるアートユニット。

広島県尾道市を拠点に2008年から本格的に活動を開始し、主に映像や造形物を用いたインスタレーション作品の制作を行う。2008年からドピカーン観音寺イベントに参加。2010年観音寺市立南小学校にてアーティスト・イン・スクールの招聘アーティストとしてCM制作を行なう。2011年夜のまち歩き～よるしるべ～を企画、制作。現在は、日本の祭事や行事に面白いアイデアやアイテムを提供するため活動中。

#### 2) 槇黄州 (陶芸家/香川県)

1959年香川県観音寺市に生れる

1977年から父・槇啓州に師事し、以後主に粉引、刷毛目、伊羅保などの李朝陶技を習得。1985年香川県三豊郡豊浜町に穴窯を築き、李朝系陶技を駆使した作品とあわせて、須恵器をベースにした、オリジナルな炭化焼締の作品を制作し始める。2004年には、香川県（現）三豊市財田町に工房を移転。その後、ドイツのベルリン・ハンブルグ・デュッセルドルフ3都市のギャラリー WOHNEN und KUNST にて展開。盛況に終し、ドイツの陶芸専門紙「Keramik Magazin」に掲載される。2008年からドピカーン観音寺イベントにワークショップ講師として参加。以来、ドピカーン観音寺イベントに毎年参加している。

【問合せ先】 ドピカーン観音寺実行委員会 事務局 TEL：090-5146-0607 (矢野)

アーティスト&企画に関するお問い合わせ TEL：090-4313-8466 (漆)